

## I. 論文の種類

医療関連感染の各領域に関する論文とする。

例) 原著: 独創性に富む論文で、明確かつ十分な新知見を認める論文 (meta-analysis を含む)。

短報: 独創性に富む論文で、明確な新知見を認めるものの、原著としては不十分な論文。

報告: 疫学調査, アンケート調査, などの報告で編集委員会が掲載に値すると評価した論文。

総説: 過去に出版された論文をまとめることにより新しい概念を提案するもの、争点を整理し、今後の研究の方向性に示唆を与えるもの。

## II. 投稿者の資格

投稿者の資格は特に定めない。但し、原稿の採否に関しては、編集委員会で検討の上、判断する。

## III. 論文の投稿方法

原稿は電子ファイルとする。

## IV. 編集

医療関連感染の編集は、編集委員が行う。

編集委員会において、投稿論文については、必要に応じて外部の有識者に査読を依頼し、その評価等を踏まえて原稿の採否・修正の指示を行う。

## V. 論文の書き方

### 1. スタイル

(1) A4 サイズの普通紙に横書き、12 ポイントで書く。

(2) 原稿の長さは下記を限度とする。

・ A4 用紙 20 枚以内 (要旨・文献を含む)。

・ 図および表は 1 図表につき A4 用紙 1 枚に作製し換算する。図表は 10 枚を限度とする。

(3) 原著は、要旨、目的、方法、結果、考察、文献、図表 (脚注) の順序とする。

(4) 頁は、表紙を除き要旨から中央に通し番号で付ける。

### 2. 構成

(1) 表紙原稿

表題 (邦文・英文)、著者名 (邦文・英文)、所属機関名 (邦文・英文)、キーワード、ページ数および図表の数。キーワードは、5 語以内、英語の小文字・単数形で記載する。

例) 手指細菌叢回収に関する検討

五反田花子<sup>1,2</sup>, 池田山太郎<sup>1</sup>, 白金二郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 東京医療保健大学大学院

<sup>2</sup> 医療センター

## Study on the Recovery of Hand Skin Flora

Hanako Gotanda<sup>1,2</sup>, Taro Ikedayama<sup>1</sup>, Jiro Shirogane<sup>1</sup>

<sup>1</sup> Division of Infection Prevention and Control Postgraduate School Tokyo Healthcare University

<sup>2</sup> Medical Center

キーワード : hand skin flora, glove juice method, palm stamp method

ページ数 : 3

図表 : 4

### (2) 要旨

- ・邦文 800 字以内とする。
- ・英文を付記する場合は 500 語以内とする。
- ・論文の目的, 方法, 結果, 考察などが簡潔に理解できるように記述する。
- ・特に, 新しい知見などの投稿論文の「特徴・意義」に関しては, 明らかにわかるように記述する。

### (3) 目的

過去の文献を引用しながら, 研究に至った経緯や研究目的をわかりやすく述べる。

### (4) 方法

- ・疾患名などは, 医学用語辞典などにある, 正式な用語を使用する。
- ・研究の対象や観察方法, 評価方法をわかりやすく記述する。

### (5) 結果

- ・読者が理解しやすいよう, 可能な限り方法の項と連動させて記述する。
- ・図表は読者が理解しやすいよう, 工夫して作成する。
- ・本文で簡単に記述できるものは, 図表にしない。
- ・図表を使用する場合は, 図表内容 (成績) をそのまま重複して本文に記述するようなことはしない。
- ・必要に応じて統計処理を行い, 結果の解釈の妥当性を示す。

### (6) 考察

- ・結果の単純な繰り返しは避ける。
- ・論旨に一貫性があり, 読みやすいように工夫すること。
- ・新しい結果 (知見) や特徴的な知見については, 過去の論文との対比を行い, 投稿論文の“価値”ができる限り容易に理解できるように, 記述する。

### (7) 文献

- ・本文中の引用した箇所の右肩に片カッコ付で番号を付して引用順に末尾に一括し, 次の形式によって記載する。

- ・雑誌名の略記は「医学中央雑誌」および Index Medicus に従う。
- ・引用文献の記述形式は Vancouver' style の最新版に準ずる。すなわち著者が 6 名以下の場合には全員記載し、7 名以上の場合には初めの 6 名を載せ、以下“その他”とする。著者のイニシヤルの後にピリオドは不要。

#### (8) 図表

- ・図表とその脚注で原則 A4 1 ページに 1 個作成する。
- ・表は、原則として縦線は入れず、横線のみで作る。
- ・表のタイトルは上に、図のタイトルは下に記述する。
- ・図表の理解に必要な説明を、タイトルとは別に記述する。
- ・写真は鮮明なコントラストをもつものにする。
- ・写真版にアート紙の使用を希望する場合やカラー写真を使用する場合にはその旨を記載する。
- ・本文に図表の入る場所を欄外に赤字で指示。

### 3. 略号、薬剤名、細菌名

- (1) 略号は、最初は略さず記載し ( ) 内に略号を記載する。タイトル、邦文要旨、本文、英文要旨は、独立したものとして扱い、略号はこのことを念頭において使用する。

例) infection control doctor (ICD)

感染管理認定看護師 (CNIC)

- (2) 薬剤名・病名等は省略せずに記述し、略号を用いる場合には文中にその旨記す。薬剤名は原則として一般名を使用する。

例) クロルヘキシジングルコン酸塩 (CHG)

benzalkonium chloride (BC)

バンコマイシン塩酸塩 (VCM)

クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD)

- (3) 表題には商品名を用いない。文中に登録商標名を使用する際は、最初を大文字とし、登録商標名のあとに社名を括弧書きして表記する。登録商標であることの記号表示 (®, TM など) は表示しないこととする。

- (4) 微生物名は学名を用いてイタリックで記載する。最初はフルネームで記載し、二度目以上使用する場合は、属名だけを省略し種形容名は略さない (例 *Staphylococcus aureus*, 二度目以降は *S. aureus* とし、ピリオド「.」の後は、半角 1 スペースを空ける)。

### 4. 単位

- (1) 単位は、m, cm, mm, μm, nm, L, dL, mL, μL, kg, mg, μg, ng, pg, °C, %, hr, min, sec 等を用いる (符号の後に点をつけない)。

- (2) 数字はアラビア数字を用いる。

## 5. その他気をつけること

- (1) 文末は「～である。」とする。
- (2) 読者の身になって、わかりやすい記述を心がける。
- (3) 論旨が通るよう、文章を書く。
- (4) 過去の同様な研究・症例論文をいくつか参考にするのも手助けとなる。
- (5) 学術用語などの誤用がないよう、注意を払う。

附則 この規程は、平成 22 年 12 月 8 日から施行する。